

一人ひとりが、生き生きととりくめる音楽指導の在り方

—思いや意図を音にして、つくる喜び・表現する喜び味わう授業をめざして—

1. 設定理由

本学級の児童は、日常的に表現することの喜びや楽しさを、合唱活動を通して経験している。しかし、自分で考え、自分の言葉で発信したり自由に表現したりすることに、苦手意識をもっている。その実態を考慮して、リズムづくりの中で、つくる喜びや表現する喜びを味わう活動を取り入れることで、児童の思考力・判断力・表現力を育むとともに、主体的に音楽活動にとりくむ児童の育成をめざしたいと考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

リズムづくりを工夫することで、音楽の幅を広げ、思いや意図を即興的に表現することができるだろう。

互いの表現を聴き合い、より良い音楽を試行錯誤しながらつくることで、つくる喜び・表現する喜びを味わうことができるだろう。

3. 研究内容

○「イメージに合うリズムづくりをしよう」（思いや意図を音にして表現しよう）

①思いや意図を伝え合い、イメージに合う音やリズムをつくる。

②表現したり聴き合ったりする中で、表現力を育む。

4. 結 論

○毎朝様々なリズムに親しむことでリズムの引き出しが増え、よりイメージに合ったリズムを見つけることができた。

○様々な曲調の「カノン」を聴かせたり、写真で視覚的なイメージをもたせたりすることで、児童が自分たちの思いで自由に表現しようとする創作意欲が増し、より良い音楽をつくることができた。

○自分たちの演奏を客観的に振り返ったり、他のグループの演奏の良さを取り入れたりすることで、より良い表現を見つけることができた。

○できあがった曲を映像レターとして他校と交換することにより、相手意識をもち、より良いものをつくるために、楽器やリズムを何度も考え直し、意欲をもって活動することができた。

東総支部

匝瑳市立椿海小学校

大木 愛

匝瑳市立野田小学校

岩井 有子

1. 研究主題

一人ひとりが、生き生きととりくめる音楽指導の在り方
～思いや意図を音にして、つくる喜び・表現する喜びを味わう授業をめざして～

2. 主題設定の理由

小学校高学年の音楽づくりの活動では、音楽づくりのための発想をもち、即興的に表現する能力、音を音楽に構成する能力を育てることが指導のねらいとなる。そこで、これまでの様々な経験を通して培ってきた音楽表現から音楽づくりの発想を得て、即興的に表現するようにするために、音楽の仕組みを生かし、つくる音楽の形やそれに至る方法を考えるなど、見通しをもってまとまりのある音楽をつくるようにすることが大切である。さらに、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって、〔共通事項〕との関連を十分に図り、まとまりのある音楽をつくる喜びを味わうようにすることが大切である。

本学級の児童は、日常的に表現することの喜びや楽しさを、合唱活動を通して経験している。しかし、自分で考え、自分の言葉で発言したり自由に表現したりすることに、苦手意識をもっている。その実態を考慮して、リズムを中心とした音楽づくりの中で、つくる喜びや表現する喜びを味わう活動を取り入れることで、児童の思考力・判断力・表現力を育むとともに、主体的に音楽活動にとりくむ児童の育成をめざしたいと考え、本主題を設定した。

3. 研究目標

一人ひとりが思いや意図をもって生き生きと音楽づくりにとりくみ、表現できる児童の育成をめざす。

4. 研究仮説

仮説1 リズムづくりを工夫することで、音楽の幅を広げ、思いや意図を即興的に表現することができるだろう。

仮説2 互いの表現を聴き合い、より良い音楽を試行錯誤しながらつくることで、つくる喜び・表現する喜びを味わうことができるだろう。

5. 具体的実践

(1) 題材名 イメージに合うリズムづくりをしよう

教材名 「カノン」 作曲 ヨハン・パッヘルベル 編曲 東山正流

(2) 題材観

本題材は、学習指導要領の内容A表現(2)イ「曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。」ウ「楽器の特徴を生かして旋律楽器及び打楽器を演奏すること。」(3)ア「いろいろな音楽表現を生かし、様々な発想をもって即興的に表現すること。」イ「音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくること。」〔共通事項〕ア(ア)「音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なりや和音の響き、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素」

(イ)「反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係などの音楽の仕組み」イ「音符、休

符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。」に関連して設定されたものである。

「パッヘルベルのカノン」(以下「カノン」と表記)は、誰もが耳にしたことのある名曲で、響きを繰り返し味わいながら、鑑賞したり演奏したりする活動を通し、豊かな響きを感じ取りながら、子どもたちが表現する喜びを実感できる題材である。

ゆったりとしたテンポの中で音がだんだんと細くなったり重なりが厚くなったりすることにより、曲想が変化し、気分の高揚感が引き起こされる。そして、徐々に高まっていく緊張感に、自分たちのつくったリズムを重ねていくことで、ひとつの楽曲が一人ひとりの思いや意図によって変化していくことの面白さを実感できる。

(3) 児童の実態

①現在ピアノなど楽器を習っている・・・・・・・・・・・・・・・・	3名
②5年生までは習っていた・・・・・・・・・・・・・・・・	3名
③階名を書かなくてもすぐに楽譜が読める・・・・・・・・	5名
④階名を書かなければ表現することが難しい・・・・・・・・	15名

リズム打ち (初見)

							
正答率 95%				正答率 40%			
							
正答率 65%				正答率 10%			

(4) 指導観

子どもたちが知っている「カノン」は卒業式の入場で流れる厳かな曲調である。そのためか、リコーダーで「カノン」を演奏した際は、音に緊張感があり、表情も硬いように感じた。そこで、リズムボックスを使い、様々なリズムに乗せてカノンをリコーダーで演奏させた。すると、子どもたちは感嘆の声を上げたり、原曲との違いを楽しんだりする姿が見られた。

そのような実態から、本題材の導入では、ロックやポップス等、様々な雰囲気「カノン」を聴かせ、どのような曲調にしたいのかイメージをもたせる。そして、視覚的なイメージをもたせるために、星空や“夏フェス”などの写真を提示し、「写真のBGMとして合う曲調にしよう。」と呼びかける。(資料1)できあがった曲は映像レターとして他校と交換し合うことを伝え、意欲をもたせたい。

普段の様子から、リズムづくりに戸惑い、消極的な様子が予想される。そこで、音符の長さを確認するために、①四分グループ(四分音符・四分休符)②八分グループ(八分音符・八分休符)に分け、リズム遊びを行う。4拍子のリズムをつくるためには、1小節の中に1

のリズムができるように様々な組み合わせを知らせる。また、朝の会で日直が考えたリズムを模倣したり、一人ひとつ4拍のリズムをつくったりし、様々なリズムの引き出しを持てるようにしたい。(資料2)

リズムづくりでは、様々なリズムを楽譜に残し、実際に楽器を演奏して確かめる方法で進めていく。ワークシートに「リズム発見隊」として、様々なリズムを考え、個人で楽器を演奏したり、友だちと合わせたりする中で、「難しい」「OK」などコメントを書くようにする。(資料3)それを参考にしながら、イメージに合ったリズムを作れるようにする。書き表すことが苦手な児童は、楽器を演奏しながらリズムを見つけられるように支援していく。

自分たちの演奏を客観的に振り返ることができるように毎時間録画し、自分たちの選んだ楽器やリズムがイメージと合っているのか確かめられるようにする。更に、授業の終わりにはともに聴き合う時間を設け、互いの良さを認めたり、自分たちの演奏のヒントにしたりできるようにしていくことで、より良い表現をめざせるようにしたい。(資料4)その中で自分たちのイメージや思いを表現できるように、楽器の演奏の仕方については、規定の奏法に捉われず、自由に表現できるようにしたい。

これらの活動を通して、音楽をつくり上げる喜びを体感させ、つくる喜びや表現する喜びを感じられるようにしていきたい。

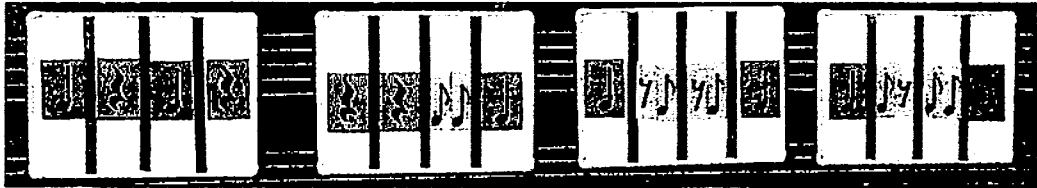
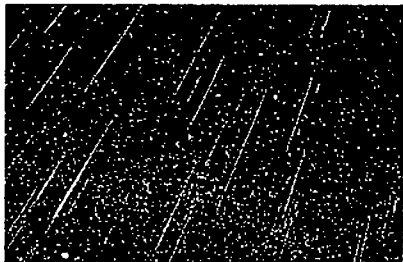
(5) 題材の目標

◇関心・意欲・態度	◇感受や表現の工夫	◇表現の技能	◇鑑賞の能力
意欲的に音やリズムを探し、イメージに合った音楽をつくろうとしている。	イメージに合った楽器やリズムを工夫することができる。	イメージに合った楽器やリズムを表現することができる。	他のグループや他校の演奏を聴き、使用する楽器やリズムから曲の印象のちがいに気づくことができる。

(6) 指導計画（4時間扱い）

	学習内容	◇評価規準
1 2	イメージに合った楽器やリズムを考える。	関心・意欲・態度 感受や表現の工夫
3	イメージや楽器に合うリズムを見つける。	感受や表現の工夫 表現の技能
4	つくったリズムを友だちと聴き合う。	表現の技能 鑑賞の能力

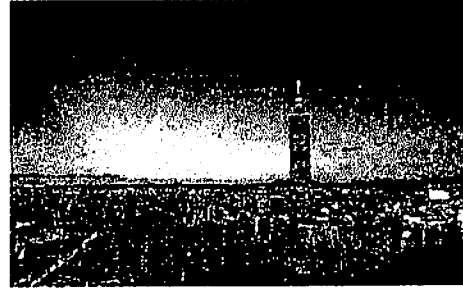
(7) 指導の実際

時	学習内容
1 2	どんな「オリジナルカノン」にするか考えよう。 1 今日のリズム  電子ピアノのデモ演奏「となりのトトロ」に合わせて手をたたく。 2 グループ分け (1) どんなリズムをつけるのかイメージをもつ。 ①様々な曲調の「カノン」を聴く。 ②リズムボックスで様々なリズムを聞く。 カノンに楽器でリズムをつけるとどうなるのかな。 早くやりたい！ (2) 希望をとる。 ノリノリ・・・5人 しっとり・・・5人 キラキラ・・・10人 (キラキラ①5人・キラキラ②5人) 3 視覚的なイメージをもつ (1) 様々な写真を提示し、「写真の BGM に合う音楽」として、自分たちがつくりたい「オリジナルカノン」のイメージをもつ。 ◇イメージに合ったリズムをつくろうとしているか(観察) [感受や表現の工夫]  いろんな色があってきれい！ 楽器もいろんな種類を使いたいな。 流れ星だからキラキラの音たくさん入れたいな。 



かっこいい！ノリノリにするために太鼓たくさん入れようよ。

しっとりだからあんまり大きい音の楽器はふさわしくないね。



(2) 楽器選び



いろんな楽器があるね。
どの楽器が合うかな。

○8ビート

大太鼓・小太鼓・タム・シンバル・ボンゴ

○キラキラ①

カホーン・トライアングル・鈴・タンブリン・ウィンドチャイム

○キラキラ②

モンキータンブリン・スレーベル・トライアングル・鈴

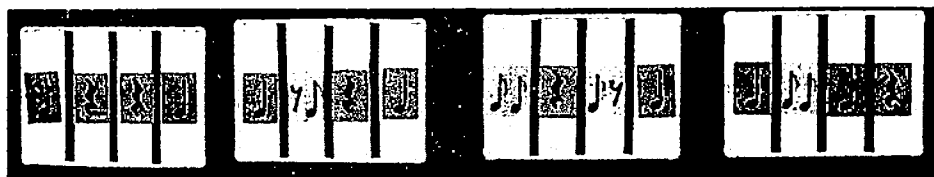
○バラード

クラベス・モンキータンブリン・マラカス・トライアングル・タンブリン

3

イメージや楽器に合うリズムを見つけよう。

1 今日のリズム

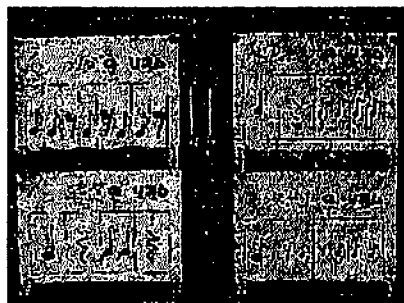


2 自分のお気に入りのリズムをつくる。

- ・各自お気に入りのリズムをつくり、それぞれのリズムを参考にしながらよりイメージに合うリズムを見つけられるようにする。

自分のつくったリズムを
友だちが使ってくれたら
嬉しいな。

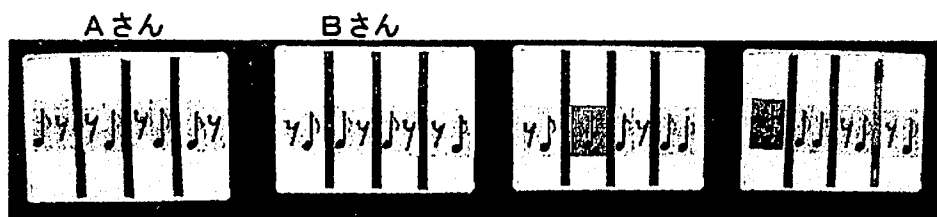
楽譜が書けるようになった
よ。



4

オリジナルカノンを友だちと聴き合おう。

1 今日のリズム



AさんとBさんのリズム、休符と音符
が反対になっているよ！それだけでも
聴こえ方が全然違うね。

2 演奏を録画する。

3 録画したものを見合い、改善点を見つける。

4 グループ全員で確認をしながら更に工夫し、まとめる。

全員の拍が合うように〇〇ち
ゃんに合わせよう。

あのグループ、1人で2つ
鈴を使っていて響くね。



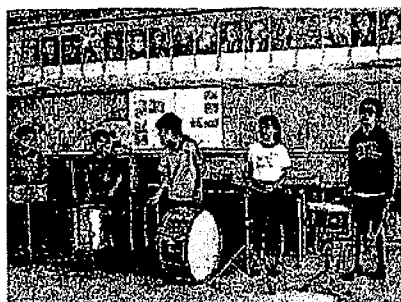
写真のBGMにぴったりにな
ったね！

映像レターを作ろう。

1 今日のリズム

全員で自分のリズムを刻む。

1人ずつ増やしながら自分でつくったリズムでセッションする。



音符や休符の種類は少ないのに、
こんなにいろんなリズムがあるんだね！

2 映像レターをつくる。

3 学習のまとめをする。

6 成果と課題 (成果○課題□)

<仮説1>

○毎朝様々なリズムに親しむことでリズムの引き出しが増え、よりイメージに合ったリズムを見つけることができた。

○様々な曲調の「カノン」を聴かせたり、写真で視覚的なイメージをもたせたりすることで、児童が自分たちの思いで自由に表現しようとする創作意欲が増し、より良い音楽をつくることができた。

○休符を含めて8分や16分のリズムが作れるようになった。

□段階的に応じた音楽づくりをしていますが、即興的に表現することは難しい。朝の会や帰りの会などで、継続的にリズムづくりに親しめる時間をつくるのが効果的だろう。

<仮説2>

○自分たちの演奏を客観的に振り返ったり、他のグループの演奏の良さを取り入れたりすることで、より良い表現を見つけることができた。

○できあがった曲を映像レターとして他校と交換することにより、相手意識をもち、より良いものをつくるために、楽器やリズムを何度も考え直し、意欲をもって活動することができた。

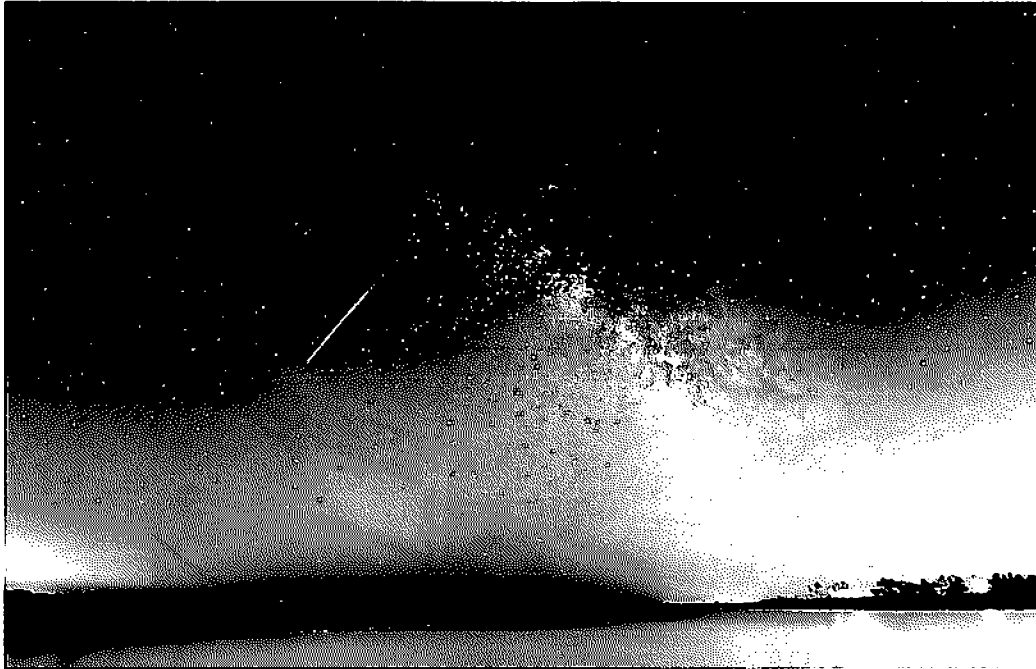
○映像レターを交換し合ったことで課題を見つけ、更に工夫したいという意欲を高めることができた。

□簡単なリズムに関しては、楽譜にして共通理解することができるが、即興的にできたリズムについては、録音や録画が効果的だが、楽譜に残すことが難しかった。

資料

資料1 イメージ

○キラキラ1 グループ



引用

https://ord.yahoo.co.jp/o/image/RV=1/RE=1500508575/RH=b3JkLnIhaG9vLmNvLmpw/RB=/RU=aHR0cDovL2ltZzAsLmdh aGFnLm5ldC8yMDE2MDEvMTVvL2dhaGFnLTAxMDY0NDQ5NTMuamBn/RS=5eADB_rNEpB-L_CeyO1QcqvwhuVlg3T M?_yle=X3lDMgRmc3QDMARpZHgDMARvaWQDQU5kOUdjUUsiSlidLM1M1dVfhRjdybDZlX2d6WWQ5Z2JFR0VRem hUSIBVZHIaUFEYOT0JjdEE1dlRkV0QzOGVBBHADNXJXQjQ0S001cGlmBHBvcwMyNgRzZWMDc2h3BHNsawNyaQ--

○キラキラ2 グループ



引用 http://www.celestial-spells.com/logs/2006/07/_possible_future_meteor_storms.php

○8 ビートグループ



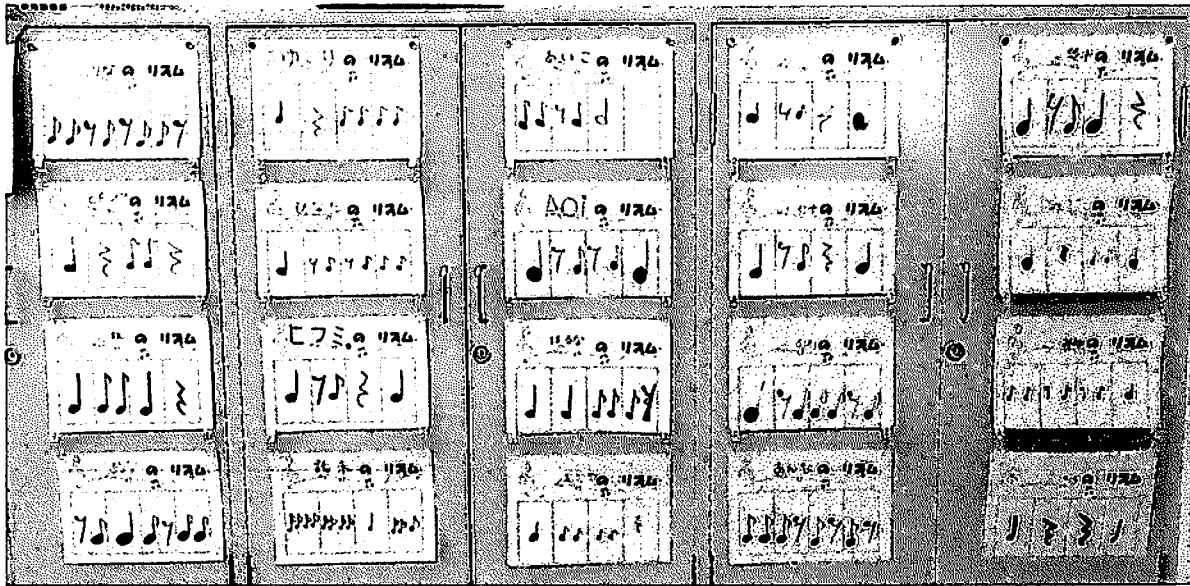
引用 <http://giver.jp/archives/26151>

○バードグループ



引用 <http://www.shotrip.com/articlejp/tourism/%E3%80%8C%E5%8F%B0%E6%B9%BE%E3%81%AE%E9%83%BD%E5%B8%82%E3%81%AE%E5%A4%9C%E6%99%AF%E3%80%8D10%E9%81%B8/>

資料2 自分で考えたリズム



資料3 リズム集め「リズム発見隊」

【キラキラ2】グループ 自分の楽器 マラカス

おリズム発見隊

そのリズム、どうだった?

① すてきな。

② うさぎ!!

③ おもしろい。

④ おもしろい。

【キラキラ2】グループ 自分の楽器 マラカス

おリズム発見隊

そのリズム、どうだった?

① OK

② OK

③ OK

④ OK

【8ビート】グループ 自分の楽器 シンバル

おリズム発見隊

そのリズム、どうだった?

① はてな?

② おもしろい。

③ ひひひ

④ ホ、ホ、ホ、ホ

【キラキラ2】グループ 自分の楽器 スレーベル

おリズム発見隊

そのリズム、どうだった?

① おもしろい。

② 使える!

③

資料4 感想

Aさん

2月12日(木)

キラキラ100%の練習をした。少しくらい楽器をもう一度考え直そうか!

録画した自分たちの映像を見直して、再度楽器を考えました。

Bさん

7月11日(木)

キラキラ100%の練習をした。友達と見つけた友だちの良いところを、自分のグループでも取り入れました。

7月12日(金)

キラキラ100%の練習をした。友達と見つけた友だちの良いところを、自分のグループでも取り入れました。

Cさん

7月17日(水)

キラキラ100%の練習をした。友達と見つけた友だちの良いところを、自分のグループでも取り入れました。

同じキラキラでも、楽器やリズムによって印象が異なることに気づきました。

Dさん

7月19日(水)

リコーダーで参加して、キラキラ100%の練習をした。理由を聞くと、テンポが安定しなかったこと、それぞれの楽器が主張しすぎてしまったことが要因のようです。

資料5 出来上がった楽譜

○8 ビートグループ シンバルパート

THE オリジナル カノン♪

None

ピアノ イマ-ジ?
うさぎ、めくわく
楽しそうな イマ-ジ

○8 ビートグループ ボンゴパート

THE オリジナル カノン♪

None

ピアノ イマ-ジ?
(リコーン) イマ-ジ

○バラードグループ マラカスパート

THE オリジナル カノン♪

None

エッセイ 18-5?

夜景・壮大

○キラキラグループ 鈴パート

THE オリジナル カノン♪

None

エッセイ 18-5?

夜景・壮大